

殺菌剤

TPN水和剤

ダコニール[®] 1000

農林水産省登録 第16824号

(クミアイ化学工業(株)登録)

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

毒性：普通物(毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称)

危険物：非該当

有効年限：5年

包装：250mℓ×40, 500mℓ×20

有効成分：TPN（化管法第1種）・・・・・・・・40.0%

殺菌剤分類

M5

ダコニール[®]は(株)エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

特長
○ダコニールは、広い殺菌スペクトラムを持ち、耐性菌の発生事例がなく、園芸用の基幹殺菌剤として水和剤、粉剤、くん煙剤が野菜、果樹、茶、芝、稲（育苗箱）に広範囲に使用されてきました。
このダコニールをフロアブル化したものがダコニール1000です。
○現在70種類以上の作物に登録があります。
○散布液の調整が簡単で、作物の汚れが少ない薬剤です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農業の総使用回数
りんご	斑点落葉病 モニリア病 黒星病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 4 5 日前 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	黒斑病 黒星病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 4 5 日前 まで	3回以内	散布	3回以内
もも	灰星病 黒星病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫前日 まで	6回以内	散布	6回以内
ネクタリン	灰星病 黒星病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
いちじく	疫病 黒葉枯病 黒かび病 さび病	2 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
キウイフルーツ	果実軟腐病	5 0 0～ 1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 6 0 日前 まで	7回以内	散布	7回以内
	すす斑病	5 0 0倍					
マルメロ	ごま色斑点病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 3 0 日前 まで	4回以内	散布	4回以内
かりん	黒点病 ごま色斑点病 白かび斑点病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 4 5 日前 まで	3回以内	散布	3回以内
パッションフルーツ	円斑病 疫病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 1 4 日前 まで	3回以内	散布	3回以内
パパイア	炭疽病	1 0 0 0倍	2 0 0～7 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
ばれいしょ	疫病	5 0 0～ 1 0 0 0倍	1 0 0～3 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 7 日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	夏疫病	1 0 0 0倍				無人航空機 による散布	
	疫病	8 倍	1.6 ℓ／1 0 a				
		1 6 倍	3.2 ℓ／1 0 a				
	夏疫病	8 倍	1.6 ℓ／1 0 a				
		1 6 倍	3.2 ℓ／1 0 a				
やまのいも	炭疽病 葉洗病 つる枯病	1 0 0 0倍	1 0 0～3 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 3 0 日前 まで	6回以内	散布	6回以内
やまのいも (むかご)	炭疽病 葉洗病 つる枯病	1 0 0 0倍	1 0 0～3 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 4 5 日前 まで	6回以内	散布	6回以内
もりあざみ	ステムフィリウム葉枯症	1 0 0 0倍	1 0 0～3 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 3 0 日前 まで	3回以内	散布	3回以内
ごぼう	うどんこ病	1 0 0 0倍	1 0 0～3 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
らっかせい	褐斑病	5 0 0倍	1 0 0～3 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫 1 4 日前 まで	4回以内	散布	4回以内
きゅうり	べと病 炭疽病 うどんこ病 灰色かび病 黒星病 褐斑病	1 0 0 0倍	1 0 0～3 0 0 ℓ ／1 0 a	収穫前日 まで	1 2 回以内	散布	1 4 回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布、常温煙霧、くん煙及び エアゾル剤の噴射は合計 1 2 回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
にがうり	炭疽病 うどんこ病 べと病 斑点病 つる枯病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内
ズッキーニ	うどんこ病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
すいか	炭疽病	7 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 3 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	つる枯病	7 0 0 ～ 1 0 0 0 倍					
メロン	うどんこ病	7 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 3 日前 まで	5 回以内	散布	5 回以内
	べと病	7 0 0 ～ 1 0 0 0 倍					
	つる枯病	1 0 0 0 倍					
かぼちゃ	べと病 白斑病 うどんこ病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 7 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
トマト	疫病 輪紋病 葉かび病 炭疽病 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 褐色輪紋病 斑点病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫前日まで	4 回以内	散布	6 回以内 (土壌灌注は 2 回以内、 散布、常溫煙霧、くん煙 及びエアゾル剤の噴射は 合計 4 回以内)
ミニトマト	疫病 輪紋病 葉かび病 炭疽病 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 斑点病 褐色輪紋病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫前日まで	2 回以内	散布	2 回以内
なす	黒枯病 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫前日まで	4 回以内	散布	4 回以内
オクラ	葉すす病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫前日まで	5 回以内	散布	5 回以内
キャベツ	べと病 根朽病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 1 4 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (は種又は定植前の 土壌混和は 1 回以内、 散布、無人航空機散布 及びエアゾル剤の噴射は 合計 2 回以内)
はくさい	白斑病 べと病 黒斑病 白さび病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (は種又は定植前の 土壌混和は 1 回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計 2 回以内)
非結球はくさい ひろしまな	白斑病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 2 8 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
だいこん	白さび病 ワッカ症 白斑病 炭疽病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 4 5 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
なばな類 (なばなを除く)	白さび病 べと病 白斑病 黒斑病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 6 0 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
なばな	白さび病 べと病 白斑病 黒斑病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	出蕾前 但し、 収穫 2 1 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
ブロッコリー	べと病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	出蕾前 但し、 収穫 2 1 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (土壌灌注は 1 回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計 2 回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農業の総使用回数
カリフラワー	べと病	1000倍	100～300ℓ ／10a	出蕾前 但し、 収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
たまねぎ	べと病 灰色かび病 白色疫病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫7日前 まで	6回以内	散布	6回以内
ねぎ	黒斑病 べと病 小菌核腐敗病 葉枯病 さび病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (土壌灌注は1回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計3回以内)
わけぎ	黒斑病 べと病 小菌核腐敗病 葉枯病 さび病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	3回以内 (土壌灌注は1回以内、 散布は2回以内)
らっきょう	灰色かび病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
にんじん	黒葉枯病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (種子への吹き付け 処理は1回以内)
		8倍	1.6ℓ／10a			無人航空機 による散布	
		16倍	3.2ℓ／10a				
セルリー	斑点病 萎縮炭疽病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫21日前 まで	2回以内	散布	2回以内
レタス	灰色かび病 すそ枯病 べと病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	5回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計3回以内)
非結球レタス リーフレタス	すそ枯病 べと病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫21日前 まで	2回以内	散布	2回以内
みつば	べと病	1000倍	100～300ℓ ／10a	根株養成期 但し、 収穫75日前まで	3回以内	散布	3回以内
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病 疫病	1000倍	100～400ℓ ／10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
しょうが	白星病	16倍	3.2ℓ／10a	収穫14日前 まで	5回以内	無人航空機 による散布	5回以内
	紋枯病 白星病	1000倍	100～300ℓ ／10a			散布	
みょうが (花穂)	葉枯病 紋枯病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	4回以内	散布	4回以内
みょうが (茎葉)	葉枯病 紋枯病	1000倍	100～300ℓ ／10a	みょうが(花穂) の収穫14日前まで 但し花穂を収穫 しない場合にあって は開花期終了まで	4回以内	散布	4回以内
にんにく	葉枯病 黄斑病 白斑葉枯病 さび病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫7日前 まで	6回以内	散布	6回以内
ゆうがお	炭疽病 うどんこ病 べと病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
うり類 (漬物用、ただし、ゆうがおを除く)	炭疽病 うどんこ病 べと病 つる枯病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
てんさい	褐斑病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内
うど	黒斑病	1000倍	100～300ℓ ／10a	根株養成期 但し、 収穫200日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (散布は3回以内、 根株瞬間浸漬は 1回以内)
ふき	灰色かび病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫21日前 まで	2回以内	散布	2回以内
あしたば	黒枯病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
食用ぎく	褐斑病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 3 0 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内
食用ゆり	葉枯病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 1 4 日前 まで	6 回以内	散布	6 回以内
みしまさいこ	炭疽病	8 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 3 0 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内
しゃくやく(薬用)	うどんこ病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 4 5 日前 まで	1 5 回以内 (1 年間に 3 回以内)	散布	1 5 回以内 (1 年間に 3 回以内)
ピーマン	斑点病 うどんこ病 黒枯病 炭疽病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
しそ	斑点病 (株枯症)	1 0 0 0 倍	1 5 0 ℓ／ 1 0 a	収穫前日 まで	4 回以内	株元散布	4 回以内
茶	炭疽病 もち病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)	7 0 0 ～ 1 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 4 0 0 ℓ ／ 1 0 a	摘採 1 0 日前 まで	1 回	散布	1 回
	網もち病 褐色円星病	1 0 0 0 倍					
	黒葉腐病 灰色かび病	7 0 0 倍					
せんぶり	さび病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 7 日前 まで	1 2 回以内 (1 年間 6 回 以内)	散布	1 2 回以内 (1 年間 6 回以内)
花き類・観葉植物 (ばら、きく、 チューリップ、ゆり、 りんどうを除く)	うどんこ病 斑点病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
ばら	黒星病 うどんこ病 斑点病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
きく	黒斑病 褐斑病 白さび病 斑点病 うどんこ病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
チューリップ	褐色斑点病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
		1 0 ～ 3 0 倍	3 ℓ／ 1 0 a			無人航空機 による散布	
ゆり	葉枯病 斑点病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
りんどう	葉枯病 褐斑病	1 0 0 0 倍	1 0 0 ～ 3 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
つつじ類	褐斑病	1 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
しきみ	炭疽病	1 0 0 0 倍	2 0 0 ～ 7 0 0 ℓ ／ 1 0 a	発病前～発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
たばこ	うどんこ病	7 0 0 ～ 1 0 0 0 倍	2 5 ～ 1 5 0 ℓ ／ 1 0 a	収穫 1 0 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内
西洋芝 (ベントグラス) 西洋芝 (バミューダグラス)	ヘルミントスポリウム葉枯病 葉腐病 (ブラウンパッチ)	5 0 0 ～ 7 5 0 倍	1 ℓ／ m ²	発病初期	8 回以内	散布	8 回以内
稲(箱育苗)	苗立枯病 (リゾプス菌)	5 0 0 ～ 1 0 0 0 倍	育苗箱 (3 0 × 6 0 × 3 cm、 使用土壌約 5 ℓ) 1 箱当り 5 0 0 m ℓ	は種時から 緑化期 但し、 は種 1 4 日後 まで	2 回以内	土壌灌注	2 回以内
		1 0 0 0 ～ 2 0 0 0 倍	育苗箱 (3 0 × 6 0 × 3 cm、 使用土壌約 5 ℓ) 1 箱当り 1 ℓ				
きゅうり	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	1 0 0 0 倍	3 ℓ／ m ²	は種時又は活着後 但し、 定植 1 4 日後 まで	2 回以内	土壌灌注	1 4 回以内 (土壌灌注は 2 回以内、 散布、常温煙霧、くん煙 及びエアゾル剤の噴射は 合計 1 2 回以内)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
トマト	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	1 0 0 0倍	3 ℓ / m ²	は種時又は活着後 但し、 定植1 4 日後 まで	2 回以内	土壌灌注	6 回以内 (土壌灌注は2 回以内、 散布、常溫煙霧、くん煙 及びエアゾル剤の噴射は 合計4 回以内)
みずな	立枯病	1 0 0 0倍	3 ℓ / m ²	は種時	1 回	土壌灌注	1 回
ねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	5 0 0 倍	0.5 ℓ / m ²	出芽揃い後 (出芽3 日後から 1 0 日後まで)	1 回	土壌灌注	4 回以内 (土壌灌注は1 回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計3 回以内)
			セル成型育苗トレイ1 箱 またはペーパーポット1 冊 (3 0 × 6 0 cm、使用土壌 約5 ℓ) 当り0.5 ℓ				
わけぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	5 0 0 倍	0.5 ℓ / m ²	出芽揃い後 (出芽3 日後から 1 0 日後まで)	1 回	土壌灌注	3 回以内 (土壌灌注は1 回以内、 散布は2 回以内)
レタス	ビッグベイン病	1 0 0 0倍	1.5 ～ 3 ℓ / m ²	収穫4 2 日前 まで	2 回以内	土壌灌注	5 回以内 (土壌灌注は2 回以内、 散布は3 回以内)
ブロッコリー	根こぶ病	1 0 0 0倍	3 ℓ / m ²	定植時	1 回	土壌灌注	3 回以内 (土壌灌注は1 回以内、 散布及び無人航空機散布は 合計2 回以内)
にんじん	黒葉枯病	1 2 倍	乾燥種子 1 kg当り6 0 m ℓ	は種前	1 回	吹き付け処理 (種子消毒機 使用)	5 回以内 (種子への吹き付け 処理は1 回以内)

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	TPNを含む農薬の総使用回数
きゅうり	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	べと病	3 3 倍	1 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日まで	1 2 回以内	常溫煙霧	1 4 回以内 (土壌灌注は2 回以内、散布、常溫煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計1 2 回以内)
トマト	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	すすかび病 葉かび病 褐色輪紋病 うどんこ病	3 3 倍	1 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日まで	4 回以内	常溫煙霧	6 回以内 (土壌灌注は2 回以内、散布、常溫煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計4 回以内)
ピーマン	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	うどんこ病	5 0 倍	1 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日まで	3 回以内	常溫煙霧	3 回以内
なす	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	うどんこ病	3 3 倍	1 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日まで	4 回以内	常溫煙霧	4 回以内
アスパラガス	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	斑点病	4 0 倍	1 0 ℓ / 1 0 a	収穫前日まで	4 回以内	常溫煙霧	4 回以内
		褐斑病						

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用直前に、容器をよく振ってください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ・散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施してください。
 - ・散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ・散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ・散布薬液の飛散によって動植物及び自動車の塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ・散布終了後、機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。また使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
- ストレプトマイシン剤およびホセチル剤と混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釈してからそれぞれの剤を加えてください。
- 稲（箱育苗）に使用する際の注意事項
 - ・緑化期に使用する場合、発病後の処理では効果が劣ることがあるので注意してください。
 - ・育苗箱苗から希釈液が漏出しないように注意してください。
- りんごに使用する際の注意事項
 - ・ゴールデンの後代品種（つがる、世界一、ジョナゴールド等）には、葉に薬害を生じるので使用しないでください。
 - ・本剤の散布により、サビ果が多くなるおそれがあるので落花後2 0 日間は散布しないでください。
- なしに使用する場合、二十世紀以外の品種には葉に薬害を生じるので使用しないでください。また、二十世紀であっても7 月以前に使用すると葉に薬害を生じるので7 月以降に使用してください。
- 有袋栽培のものにも使用する場合、除袋直後の散布は果面に日焼け症状が出るおそれがあるのでさけてください。
- いちじくに使用する場合、果実に薬害が発生するおそれがあるので、果実肥大期の初期あるいは夏期高温時の散布はさけてください。
- ねぎ及びわけぎに土壌灌注として使う場合、は種時から出芽直後の処理においては生育抑制のおそれがあるため注意してください。
- レタスに使用する場合、生育遅延のおそれがあるので高温期の灌注はさけてください。
- しそに使用する場合、薬液による汚れが生じるおそれがあるので、葉にかからないように株元に散布してください。

- 常温煙霧として使用する際の注意事項
 - ・ 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - ・ 煙霧が直接作物体に当たると汚れが生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が作物体に直接当たらないようにしてください。
 - ・ 作業はできるだけ夕方に行い、終了後は6時間以上密閉してください。
- 花き類・観葉植物に使用する場合、花卉に薬液が付着すると漂白・退色などによる斑点を生じる場合があるので着色期以降の散布はさせていただきます。また、薬液による汚れが生じるおそれがあるので収穫間際の散布はさせていただきます。ただし、球根生産（チューリップ）の場合は、問題なく使用できます。
- みずかけな（水掛菜）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- 芝に使用する場合、夏期高温時の散布、特に暖地では葉に薬害(黄変または褐変)を生じることがあるので注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関連機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので、皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触をさせていただきます。
- 夏期高温時の使用をさせていただきます。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 養殖池周辺での使用はさせていただきます。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 移植後は河川、養殖池などに流入しないよう水管理に注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製をおこない、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した場所に保管してください。